

2024 Maibara High School English Camp

July 29~30

英語コースの夏休みの目玉行事である、1、2年合同合宿が、去る、7月29、30日にクレフィール湖東で行われました。この合宿は、1、2年が交流しながら、世界に目を向け、広い視野を養う学習の機会として毎年行われているものです。

1日目のスケジュール

Timetable			
July 29 Monday			
Time		Content	Instructor
13:00	Opening	Opening Ceremony	須戸
13:15	Activity 1	Warm-up	山下
14:15	Activity 2	Language-focused Workshop	濱川
15:30	Check in	Put luggage into your room	
16:00	Activity 3	Workshop and lecture about 'AI and English Learning' by Ms. Mio Horio	須戸
18:00	Dinner	Meet at the restaurant at 18:00	濱川・山下
19:15	Activity 4	Maibara Quiz (Team Competition)	北川・須戸・Kyle
21:00	Take a bath	Get ready for the next day	
		22:30 Health Check	宿泊教員
		Sleep Well!!!!	
July 30 Tuesday			
Time		Content	



Opening & Activity 1 Warm-Up

‘Find someone who...’

オリジナルで作った Yes-No Question をして、Yes と相手が答えたら名前を書いてもらうゲームです。答えが Yes でも No でも、その質問に関連することについてしばらく会話を続けるのがルールです。ビンゴ形式のため、空欄を埋めようと次から次へと相手を変え会話を楽しみました。



Activity 2	
A laughter a day keeps doctors away	
(1) Do you see the misunderstanding?	
My friend said he knew a man with a wooden leg named Smith. So I asked him "What was the name of his other leg?"	
(2) Be careful of the part of speech.	
Can February March? No, but April May.	
(3) Complete the jokes by filling in the blanks. Use your dictionary to find the answers.	
1. Why do bees have sticky hair? Because they use a _____.	
2. Apple is designing a new automatic car. But they're having trouble installing _____.	

Activity 2 Language-Focused Workshop

A laughter a day keeps doctors away とは、An apple a day keep the doctor away. (「1日1個のリンゴで医者いらず」) という英語のことわざをもじったものです。「楽しく英語に触れよう」というテーマで、さまざまな活動を行いました。最初は、英語のジョークを読み、そのオチを見つける活動です。辞書を引きながら、単語の持つさまざまな意味を学び、「アハ体験(aha experience)」をしました。

右の写真は、Finding the article (記事を見つけよう)という課題に取り組む生徒たちです。Politics(政治)、Environment (環境)、Technology (科学技術) など、さまざまなカテゴリーの記事を見つけて、ワークシートに記入していきました。グループ内では、興味ある記事や写真について話が弾みました。日頃、敬遠しがちな英字新聞ですが、ゲーム感覚で目を通すことで、身近に感じることができたようです。



Activity 3 Workshop and Lecture about 'AI and English Learning'

「AIと英語学習についての演習と講義」

関西大学中・高等部から堀尾美央先生をお招きして、ご講演をしていただきました。先生は3年前まで米原高校におられた先生です。左の写真は、今まで行かれた国々について説明されているところです。英語圏以外の国に多く行かれているようで、話を聞きながら、生徒たちは広い世界を頭に思い描き、将来自分も・・・と思ったことでしょう。

現在自分たちがどのように英語の勉強をしているかについて、発表し合いました。外国で言葉が通じなくても Google 翻訳など、さまざまな語学関連のアプリやツールがある中で、私たちが英語を学ぶ意義はどこにあるのだろう、という問いに、生徒たちは自分なりの答えを導きだそうと真剣に考えました。機械でのコミュニケーションでは感情が伝わらない、などの意見が出ました。



左の写真は、発音練習のツールを紹介してもらって、練習しているところです。タブレットに向かって英文を読み上げ、録音すると、数秒後には、正しく発音されていない部分が色付きで示されます。さらに、その部分を発音するときの口の動き方や正しい発音がイラストと共に現れ、何度もその発音を練習します。生徒たちは、大きな声で音読を繰り返し、楽しく発音練習をしました。



Activity 4 Maibara Quiz

(Team Competition) 19:15~ 21:00

夕食後の活動は、みんなが楽しみにしている、合宿恒例のチーム対抗クイズ大会です。

ランダム構成された8つの1・2年合同チームが協力して活動します。クイズ(ゲーム)はPart1~Part4まであり、正解すれば、ポイントがもらえます。また、優勝チーム、2位、3位には景品のお菓子がもらえます。みんなやる気満々です。

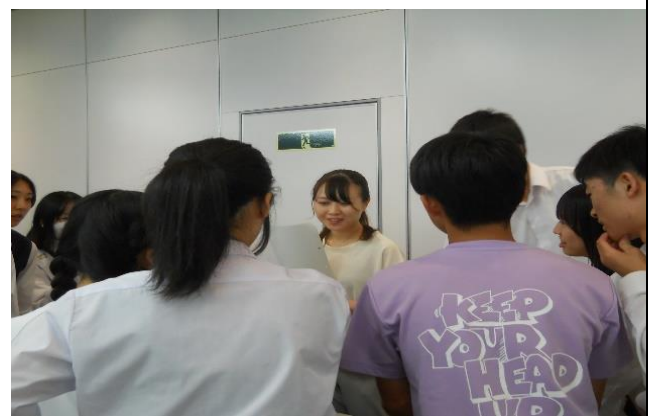
Part1 は TABOO というゲームです。カードに書かれた単語を英語で説明し、チームのメンバーに当てさせるというものです。カードには、Taboo Words (言ってはいけない単語) も書かれており、その単語をヒントとして言ってしまうと、アウトとなります。例えば、castle の説明では、Hikone/Azuchi/Shirasagi /samurai/building/history は Taboo Words です。



Part2 は Vocabulary というゲームです。

Quiz Master が5文字から成る英単語の定義を読み上げ、チームの中から選ばれた5名が、相談せずに、それぞれ一文字ずつ書いていきます。写真の単語の定義は、"It's food made of thin flat round bread, baked with tomato, cheese, and sometimes vegetables, or meat on top"でした。答えが pizza となるはずでしたが、左の写真のチームの出した解答は"aizer"でした。答えを聞いてみんな大笑い。

Part3 は Knowledge というゲームです。Sports, Entertainment, History/Geography, Science, Current Events の5つのジャンルについての英語のクイズを、それぞれ担当の先生が読み上げ、各チームから集まった人たちが我先にと答えるというものです。英語を聞く力だけでなく、知識も問われます。この後、チームの代表者による Part4 を経て優勝チームが決定しました。初日の疲れを感じさせない盛り上がりでした。



19:15	Activity 4	Midnight Quiz	宿泊教員
21:00	Take a bath	Get ready for the next day 22:30 Health Check	Sleep Well!!!!

July 30 Tuesday			
Time	Content	Instructor	
6:30	Wake up		
7:15	Breakfast		
7:30	Check out		
9:00	Activity 5		
10:30	Activity 6		
12:30	Lunch		
13:30	Activity 7		
15:00			
16:15	Closing		
16:30	Dismissal		



2日目がはじまりました

Activity 5 1年・2年 それぞれの研修

1年は、8月に行われる、中学生対象学校説明会での英語模擬授業を自ら体験しました。どういふところに中学生が躓きやすいかについて学習しました。(上)

2年は、堅田高校の浦川先生にディベートの決勝戦を見てもらったあと、先生からの講評を聞き、効果的なアタックについて学習しました。(左)

Activity 6 Workshop and Lecture about experience as an entrepreneur

(起業家としての経験から伝えたいこと 芹澤和彦氏による講演)

大阪の私立中学校・高校で講師をしながら、教育クリエイターとして、教員対象の「アントレプレナーシップ教育」の研修を中心に活躍されている芹澤氏の講演を聞きました。



講演を聞いたあと、「アントレプレナーシップ(起業家精神)に必要なものは何だろう」という問いに、生徒たちが自ら考えたあと、グループで話し合いました。

写真は、グループの代表が一人ずつ、グループ内で出た意見を英語で発表している場面です。皆、真剣に考え、きちんと英語で伝えられていました。芹澤先生からは、生徒たちの真摯な学びの姿勢と優れた英語力に対してお褒めのことばをいただきました。

Activity 7 Skit Making with ALTs

研修最後の活動は、寸劇(skit)を作り発表するというものです。10名のALTが、それぞれ1つのグループを担当してくださいました。テーマは「New Fairy Tales (新しいおとぎ話)」です。各グループが、お話と、教訓が書かれたカードを与えられ、おとぎ話を、課された教訓に合うように変えて、別の新しいお話にします。まずはALTのアドバイスを受けてお話作りからスタート！



その後はパフォーマンスです。どのグループも、創造的で、笑いを誘う発表で、会場内は笑いの渦に巻き込まれました。個性あふれるパフォーマンスで、さすが英語コースという仕上がりでした。



Closing

Skit Performance のあと、ALT の先生方からそれぞれコメントをいただきました。多くの先生方が生徒の健闘を称え、今後も楽しく英語を学んでいってください、と激励してくださいました。

こうして、1泊2日にわたる、英語コース1・2年合同合宿は終了しました。この合宿を通じて1・2生の距離がぐんと縮まりました。また、さまざまな活動を通じ、いろんな先生方のお話を聞き、さらに視野が広がったことと思います。今後もさらに、英語コース生としての学びを深めていってくれることでしょう。

